

NEWS RELEASE

2021年2月11日(木) 16:00

石崎ひゅーい VS 尾崎裕哉 あの「双発機」がふたたび オーケストラとの共演で新境地を切り拓く



ポップスとオーケストラの共演によって多様性のある音楽を創造するコンサート「ビルボードクラシックス」を全国で展開中のビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク〔阪急阪神ホールディングスグループ〕本社:大阪市福島区、代表取締役:北口正人）は、二人のアーティストによるオーケストラとの共演シリーズである"Grand Duo"（グラン・デュオ）を新たに始動させ、その第一弾として、「billboard classics Symphonic Concert "Grand Duo" 2021 石崎ひゅーい×尾崎裕哉～双発機～」を開催いたします。

感情に訴えかけるまっすぐな歌声とエモーショナルなライブパフォーマンスで観客を魅了し続けるシンガーソングライター石崎ひゅーい。一方、父・尾崎豊の声を受け継ぎ、自身の音楽観と融合させていくという目標を掲げてきた尾崎裕哉。2013年の尾崎豊トリビュートライブで初めて共演して以来、互いの音楽性で刺激しあってきた二人。2018年の「双発機」と冠した初の2マンライブでは、「I LOVE YOU」「15の夜」といった尾崎豊の名曲をギター1本でぶつかり合いながら歌い上げ、エネルギーが会場に満ち溢れる伝説のライブとなりました。

そして2021年春、オーケストラの奏でる多彩なハーモニーとともに、「双発機」は新たな舞台へ力強く飛び立ち、まだ見ぬ新境地を切り拓きます。昨年10月の「billboard classics festival」で観客の感動を巻き起こした熱唱も記憶に新しい中、さらなる高みに向かってチャレンジする石崎ひゅーい。ビルボードクラシックスで数々のオーケストラコンサートにも挑戦し、ボーカリストとして着実に進化を遂げながら次のステップへ踏み出す尾崎裕哉。そんな二人と世界的指揮者・栗田博文率いる東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ、大阪交響楽団との共鳴により生み出される爆発的なサウンドは必聴です！

■公演名：

「billboard classics Symphonic Concert "Grand Duo" 2021 石崎ひゅーい×尾崎裕哉 ～双発機～」読み仮名 ビルボードクラシックス・シンフォニック・コンサート 2021“グラン・デュオ”
いしざきひゅーい×おざきひろや～そうはつき～

■公演日時・会場

【東京】2021年4月25日（日）開場 16:00 開演 17:00 東京文化会館 大ホール

【兵庫】2021年5月2日（日）開場 16:00 開演 17:00 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO
大ホール

■出演：石崎ひゅーい、尾崎裕哉

■音楽監督：須藤晃

■指揮：栗田博文

■管弦楽：【東京】東京フィル・ビルボードクラシックスオーケストラ 【兵庫】大阪交響楽団

【チケット料金】

全席指定 8,800 円（税込）／ペアチケット 16,000 円（税込）

※未就学児入場不可

主催・企画制作：ビルボードジャパン

後援：米国ビルボード、J-WAVE（東京）、FM COCOLO（兵庫）

公演公式 Web サイト：<http://billboard-cc.com/classics/huwie-hiroya/>

※新型コロナウイルス感染症対策を行った上で開催します。

※チケット購入の際は必ず、公式 Web サイトに掲載している注意事項をご確認の上、チケットをお求めください。

【チケット販売スケジュール】

石崎ひゅーい、尾崎裕哉 FC 会員先行エントリー受付：

2021年2月17日（水）15:00～2月23日（火祝）23:59

ビルボードライブ「Club BBL」会員先行エントリー受付：

2021年2月19日（金）15:00～2月25日（木）23:59

ローソンチケット先行エントリー受付：2021年2月19日（金）15:00～2月25日（木）23:59

一般発売 2021年3月13日（土）10:00

【プレイガイド】

（東京）

キョードー東京 0570-550-799／チケットぴあ 0570-02-9999／ローソンチケット／イープラス

（兵庫）

チケットぴあ 0570-02-9999／ローソンチケット／イープラス／CN プレイガイド 0570-08-9999

【コンサートに関するお問い合わせ】

（東京）キョードー東京 0570-550-799（平日 11:00～18:00／土日祝 10:00～18:00）

（兵庫）キョードーインフォメーション 0570-200-888（平日・土曜 11:00～16:00）

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社阪神コンテンツリンク パフォーミング・アーツ部

メールアドレス：bbc@hcl-c.com TEL：(03) 5544-9802 FAX：(03) 5544-9806

ビルボードクラシックス公式ウェブサイト：<http://billboard-cc.com/classics/>

【添付資料】出演者プロフィール

石崎ひゅーい

本名。

母親が David Bowie のファンで、その息子が Zowie（ゾーイ）という名前だったことから、もじって、Huwie（ひゅーい）と名付けた。

2018 年、菅田将暉に楽曲提供した「さよならエレジー」が驚異的なヒットソングに。

2019 年、大泉洋主演映画「そらのレストラン」にも出演し、俳優としても活躍の場を広げる。

オフィシャルサイト：<http://www.ishizakihuwie.com>



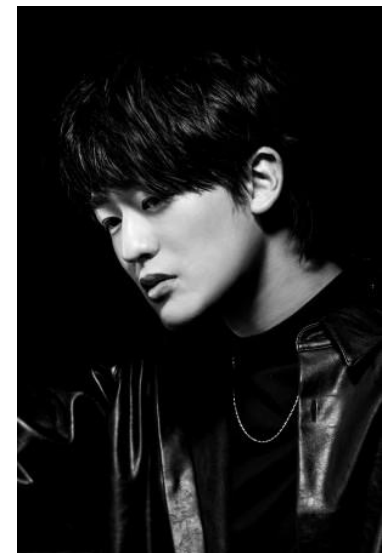
尾崎裕哉

デジタルネイティブ世代のバイリンガル、
コンテンポラリー・シンガーソングライター。

1989 年、東京生まれ。

2 歳の時、父・尾崎豊が死去。母と共にアメリカに渡り、15 歳までの 10 年間を米国ボストンで過ごす。慶應義塾大学大学院卒。2016 年に、自伝『二世』（新潮社）を出版し、アーティスト「尾崎裕哉」としては初の音源となる Digital 1st Single『始まりの街』をリリース。2020 年 10 月に 1st フルアルバム「GOLDEN HOUR」を SME レコーズより発表。

フルオーケストラとの競演によるビルボードクラシックスコンサートは 2019 年 5 月のサントリーホール、2020 年 8 月には兵庫県立芸術文化センター KOBELCO ホールにて開催、そのスケール感ある表現力が高く評価された。また弾き語りツアー「ONE MAN STAND」、バンドツアー「INTO THE NIGHT」と様々なスタイルでのライブ活動を行っている。ラジオ番組「Night Time Dreamers」（FM COCOLO）も担当している。



尾崎裕哉オフィシャルサイト www.hiroyaozaki.com/

須藤晃（音楽監督）

1952 年生まれ 富山県出身

音楽プロデューサー・作家。

1977 年東京大学文学部英米文学科卒業。

1977 年 CBS ソニー（現ソニー・ミュージックエンタテインメント）入社。

1996 年に独立、(株)カリントファクトリー主宰。

2015 年よりオーバード・ホール／（公財）富山市民文化事業団芸術監督に就任。

尾崎豊、村下孝蔵、玉置浩二、石崎ひゅーいらの制作パートナーとして数々の名曲を発表し続けている。



栗田博文

1988年、第23回東京国際音楽コンクール指揮部門において第1位優勝を果たし、翌年、国内主要オーケストラを指揮しデビュー。1989年に渡欧。同年、第1回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクール（イタリア）に入賞し国際的な評価を確立。1995年第1回シベリウス国際指揮者コンクール（フィンランド）の最高位に輝く。同年、フィンランド放送交響楽団より招かれ、ヨーロッパデビューを果たし大好評を博す。国内外の活発な指揮活動とともに、国立音楽大学客員教授を務め、後進の指導にも力を注いでいる。クラシック音楽の古典から現代作品まで、幅広いレパートリーを持つほか、様々なジャンルとのコラボレーションも積極的に行っている。栗田博文ブログ <http://hirofumi-kurita.com/>



東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督チョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamura オーチャードホール、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷の午後のコンサート」「平日の午後のコンサート」「休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHK ニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』などの放送演奏、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として、高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を得ている。1989年からBunkamura オーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。公式ウェブサイト <https://www.tpo.or.jp/>
写真クレジット©上野隆文



大阪交響楽団

1980年創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後曾我大介を音楽監督・常任指揮者に、さらに大山平一郎がミュージックアドバイザー・首席指揮者に、そして2008年4月からは児玉宏が音楽監督・首席指揮者に就任、その活動ぶりと演奏は各方面から高い評価を得た。楽団名を「大阪シンフォニカー」から2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となり、2018年11月に公益社団法人となった。2000年本拠地を



大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社 代表取締役会長 樋口武男氏が運営理事を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社 代表取締役社長 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーを経て、2020年4月名誉指揮者に就任、2019年4月には太田弦（2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で第2位ならびに聴衆賞を受賞）が正指揮者に就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ <http://sym.jp>

写真クレジット ©飯島隆